

|        |                                             |
|--------|---------------------------------------------|
| テーマ 11 | マッチング技術を活用した春野福祉センター利活用<br>・地域活性化施策の検証（浜松市） |
|--------|---------------------------------------------|

### 1. 解決したい課題の内容

- ・浜松市の中山間地域・天竜区に位置する春野福祉センターは、市民の福祉の向上と健康増進を図ることを目的に、地域福祉の拠点として1999年に設置され、25年が経過し老朽化している。
- ・同施設には研修室や多目的室のほかに、市の指定管理者が管理運営を行う入浴施設「すみれの湯」があり、施設利用者（直近5年間の平均で年11,538人）のうち、約75%が入浴施設の利用者であることがわかっている。
- ・2023年度に実施した、施設利用者に関するアンケート結果からは、年間の施設利用者の内訳として市内利用者と市外利用者がともに50%ずつであるが、観光シーズンは、市内利用者が44%、市外利用者が56%と、若干ではあるが市外利用者が上回ることが分かった。
- ・以上のような経緯から、春野福祉センターは以下のような問題を抱えている。
  - (1) 利用者の少なさ
    - (ア) 貸部屋は平均すると1日平均10人程度  
(利用されない日が続く部屋も存在している)
    - (イ) 入浴施設の利用者数は、1日平均男女で30人程度  
(男女合計、営業時間6時間)
  - (2) 条例における施設の設置目的と現状の利用実態との乖離  
(福祉目的で設置された施設だが、利用者の半数が観光を目的としている)
  - (3) 入浴設備を含む施設全体の老朽化に伴う修繕コストの増加

### 2. 実現したい目標について

- (1) 利用者の増加
  - ※継続的に取り組みが可能な事業により、貸部屋の利用増や施設に訪れる人を増やす
- (2) 市民、特に春野福祉センター近隣の地域住民に喜ばれる地域住民のための施設として、地域住民が施設を利用することによる、住民活動の活性化
  - ※地域福祉の拠点であるという当初の設置目的は維持しつつ、福祉的視点に捕らわれない柔軟な発想で施設の機能を拡充することによる（中山間）地域振興等も視野に入れる

### 3. 必要とする技術について

一例として以下を想定するがこれにこだわらない。

- (1) コミュニティ運用技術
- (2) 高齢者でも利用可能なマッチングシステムの構築技術

(3) 地域の情報を集約・発信するプラットフォームの構築・運用技術

#### 4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

一例として以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・ 施設及び施設利用者及び地域住民の協力のもと、上記技術を用いたプラットフォームを利用し、施設の課題や地域住民の困りごとなどを収集・分析する。
- ・ 集めたデータを公開することで、協力者を集め、施設を活用した課題解決策を実行し、効果を検証する。

##### ※実証内容例

- ・ 地域の特色を活かした中山間地域振興の取組として  
…ジビエ食堂、春野地域ほか周辺地域など地元物産展 等
- ・ 地域の特色にこだわらない取組として  
…集客力のあるイベント（通年開催、都度開催問わず）
- ・ 安心して暮らせる地域の取組として  
…ドローンの物流拠点、遠隔診療の中継地 等
- ・ 地域の食料拠点として  
…食材の移動販売所